

(別紙様式 = 小学校用)

都道府県番号	14
都道府県名	神奈川県

【 ✓ 】

\*重点をおいた観点にチェックすること

学校名及び規模

学校名	横浜市立東小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	2	2	2	2	13	
児童数	48	36	43	55	54	61	5	302	19

研究の概要

(1) 研究主題

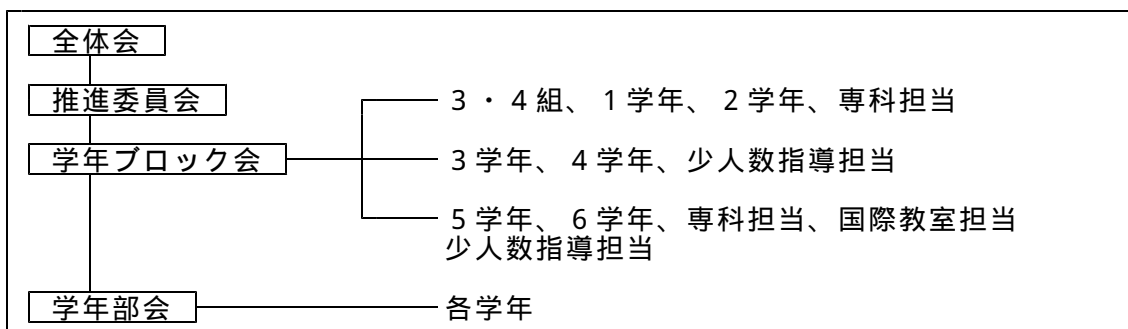
個に応じて生きてはたらく言語能力を高める学習指導の工夫  
～主として国語科学習の少人数指導を中心に～

(2) 研究主題設定の趣旨

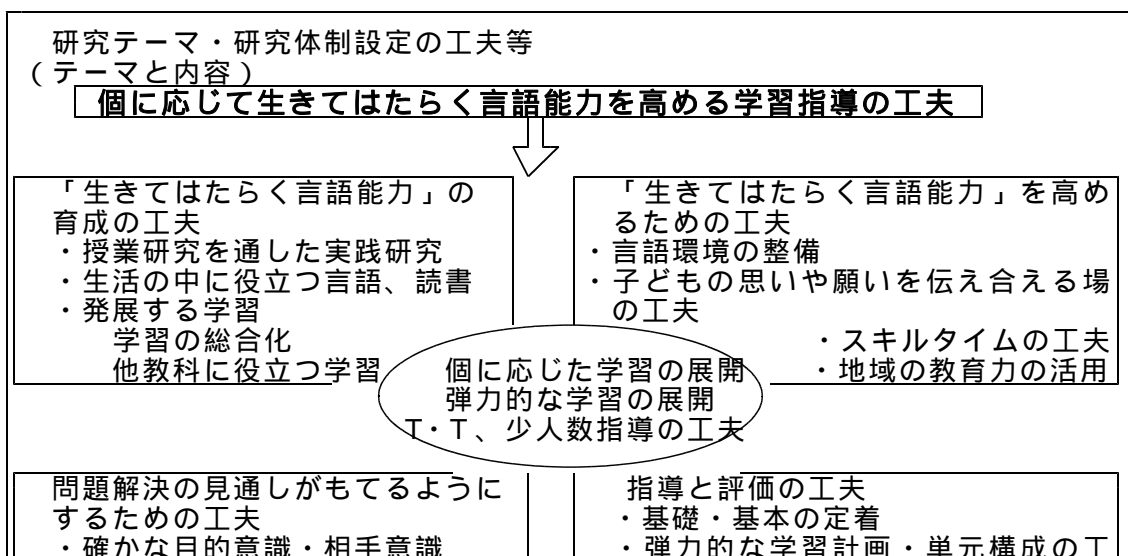
児童の興味・関心・意欲を高め、一人ひとりの主体的・創造的な学習をつくるために、国語科において少人数指導等の柔軟な指導体制を導入し、意図的・計画的な学習の場を設定していく。それにより、基礎・基本が定着し、生きて働く言語能力を高め、個に応じた確かな学力を培うことができると考えた。

研究の概要

(1) 研究推進体制の工夫



(2) 研究の実際



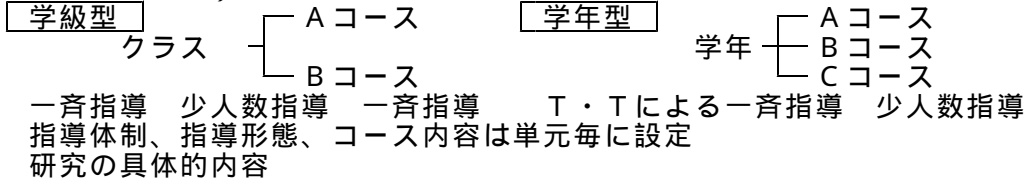
- 場面意識
- ・学び合い(自己評価、相互評価)
  - ・個に応じた学力の向上
  - ・子どものより良い学びの追究

- 夫
- ・授業の複線化
  - ・意識調査 指導法の改善
  - ・評価計画・評価規準の見直し
  - ・自己評価の工夫

(部会テーマ)

- 低学年部会 「興味をもって読み、自分の思いを表現する子」  
 中学年部会 「目的・意図に応じて正確に読み取り、自分の気持ちや考えを適切に表現する子」  
 高学年部会 「目的・意図に応じて的確に読み取り、効果的に表現する子」  
 主に「書くこと」「読むこと」の領域に絞り、T・Tや少人数指導による課題別及び習熟度別などの学習の研究を行う。

(指導形態の工夫)



(1) 国語科におけるT・T、少人数指導

- 「学年年間計画」の作成
- ・行事、教科、領域の関連を図った指導を計画的に行う。
- 国語科の「授業の見通しと効果的な授業形態」(各学年毎)の作成
- ・単元毎に培う力を明らかにして、指導方法、授業形態を工夫する。
- 国語科の「三領域及び言語事項の内容と教材の関連表」の作成
- ・基礎・基本をおさえ、評価規準を明確にする。
  - 言語環境を整えるために「しっかり話そう・しっかり聞こう東っ子」を作成
  - ・「話す」「聞く」時の約束について共通理解を図り、学年に応じた指導を徹底する。

国語科の授業例

学年	指導形態	コースの分け方	教材名
1年	少人数 学級型	学習方法別	じどうしゃずかんをつくろう
	少人数 学年型	習熟度別	ことばであそぼう
2年	T・T 学級型	興味関心別	べりいはかわいい・よくみてかこう
	少人数 学年型	目的別	スイミーとレオ＝レオニ
3年	T・T 学年型	目的別	いっしょに読もう、文集あずま
	少人数 学級型	目的別	しょうたいじょうをくふうして作ろう
	少人数 学級型	目的別	わたしと小鳥とすずと
	少人数 学級型	習熟度別	インタビューをしよう
	少人数 学級型	興味関心別	ちいちゃんのかげおくり
4年	少人数 学級型	習熟度別	たから物をさがしに
	T・T 学年型	習熟度別	ありの行列
	少人数 学年型	課題別	三浦臨海学校の楽しさが伝わる返事を書こう
	少人数 学級型	学習方法別	一つの花
	少人数 学年型	興味関心別	ツバメの住む町
5年	少人数 学級型	等質	伝えようわたしたちの心
	少人数 学年型	興味関心別	十才を祝おう
	少人数 学級型	目的別	言葉の研究レポート
6年	少人数 学年型	目的別	読む人のことを考えて
	少人数 学年型	課題別	海の命
	少人数 学年型	興味関心別	相手や目的に応じて書こう きいちゃん 生きる 言葉の橋

(2) 読書タイムの工夫

- ・毎週水曜日の8:25～8:40
- ・読み聞かせ、ブックトーク(ボランティア:保護者、市立図書館などの支援)を取り入れる。読書記録を残す。読書カードの利用

(3) スキルタイムの工夫

- ・国語の基礎・基本の定着を図るための取組
- ・週3回一火・水・金の8:45～9:00。3モジュールで国語1時間
- ・漢字プリントの反復学習、言語事項の内容をもとにしたプリント学習、音読、書くことを中心とした継続学習(要点、要約文、日記等)

(3) 研究の成果と課題  
研究の成果

T・Tや少人数指導など個に応じた指導を工夫したことで、課題に対し意欲的に取り組む児童が増えてきた。それは、学習内容がよく分かり、国語科の学習が好きになってきている児童が増えてきていることによるものと考えられる。また、児童は、質問したり意見を言ったりする機会が増え、安心して自信をもって学習する姿が見られる。

読書タイム

自分から進んで読書をする児童や本を読む楽しさを感じている児童が増えてきた。低学年では保護者による読み聞かせによって、児童の本への興味が高まった。読んだ本の題名を記録し、読書量が分かるように読書カードを活用した。

スキルタイム

朝の時間に設定したため、時間を確保する上で困難な面もあったが、漢字や言語事項のスキルを継続的に取り組むことは、効果的であった。日記や要約文の取組では、書くことの苦手意識が薄れ、長い文章が書けるようになってきた。

自己評価

学習振り返りカードの活用は、児童自身が課題を明確にして学習に取り組むことや、児童の意欲や理解度を確認し次の指導に生かすことなどに有効であった。

課題

個の差異を把握し、個の課題に対応した支援を行うための個別カルテ、評価カードを作成し、活用する。

自ら学ぶ力と友だち同士の学び合いの力を高めるために、学習活動を工夫し、児童の自己評価や相互評価の仕方について研究を深める。また、自己評価能力やコース選択能力も育成していく。

国語の基礎・基本を確実に身に付けるために、効果的なスキル学習の内容、学習システムを開発する。

生きてはたらく言語能力を高めるために、児童が自分の伸びる力を自ら感じ取り、主体的に学ぼうとする自信と意欲につながる活動の工夫をする。(例：読書、音読、暗唱などの表現活動)

国語の学力及び興味関心について調査し、本年度4月の横浜市標準学力診断検査の結果や国語科アンケート結果などと比べて、分析、検討を行う。豊かな言語能力を高めるために、地域の教育力を生かした学習を考えていく。

(4) 研究成果の普及の方策

横浜地区学力向上推進連絡協議会で中間報告

保護者や地域の方々への説明(学校だより、学年だよりでのお知らせ、授業参観、懇談会)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  6学級以下  7～12学級
- 13～18学級  19～24学級
- 25学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導
- 一部教科担任制  その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科
- 生活  音楽  図画工作  家庭
- 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無

【特色ある取組事例としての紹介したいポイント】

国語科で少人数指導に取組み、生きて働く言語能力を高めることによって、確かな学力の向上をねらっている。